

建築部品の標準化

Standardization of building components

高い信頼性を要求される電話局の設計において、大量建設を可能にするためには

設計ノウハウの蓄積と共有化が必要であり、建物全体の標準設計とあわせて

建築部品の標準化を進めた。その結果は各種の標準仕様書・標準詳細図としてまとめ、

度重なる改訂により改良を加えていった。

機械室用エアタイトサッシ

Air-tight sash for machine rooms

装置の保守や空調故障時の対応などのため機械室に設けられた窓が、気密性や火災の延焼などの弱点とならないよう、専用のエアタイトサッシを開発した。複層ガラスと防火シャッターにより、断熱・防火性能を確保し、特殊な丁番による内開き形式して高い気密性を持たせつつ、換気・保守・清掃・塗装などの際の開閉を可能にした。



エアタイトサッシ(外側)



エアタイトサッシ(内側)

3点連動締りハンドル

Three-point interlocking handle

電話局用の扉・窓には一般の建物用と異なる特殊な要求条件があり、これを満足するためにさまざまな専用の建具金物を開発した。この3点連動締りハンドルは、大型の搬入扉において、高い気密性を確保すると同時に非常用進入口としても使用できるよう、1つのハンドルで上中下三箇所の締付けボルトを同時に操作するものである。